

平成24年度(平成24年4月~平成25年3月)の六ヶ所原子燃料サイクル施設周辺における環境放射線の評価結果をお知らせします

原子燃料サイクル施設の周辺環境における放射線の状況を把握するため、当社では、モニタリングステーション等による空間放射線量率の監視を継続的に行うとともに、さまざまな試料を採取し、分析・測定を行っています。平成24年度の結果は、青森県の調査結果とあわせて、先般、開催された放射線の専門家や地元自治体・農漁協など各種団体の関係者等で構成される「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議(7月30日開催)」において審議され、

「概ねこれまでと同じ水準であった」と評価・確認されました。また、一部の環境試料において、平成23年3月に発生した東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故の影響により過去の測定値の範囲を上回ったものがありました。住民等の健康と安全に影響を与えるレベルではないと併せて評価されました。下段に、青森県と当社のモニタリング結果をあわせて表示します。

なお、当社施設からの影響も認められていません。

当社ホームページのご紹介

当社ホームページでは、施設周辺の放射線測定の実タイムデータなどの情報をお知らせしています。

<http://www.jnfl.co.jp>

放射線モニタリングのページ



空間放射線量の監視ページ



放射線の監視、試料採取

- モニタリングカー
- 河川の水
- 河床土の採取
- 土の採取
- モニタリングポスト
- モニタリングステーション
- 湖の水、湖底土の採取
- 畜産物の採取(牛乳、牧草等)
- 農作物の採取(ハクサイ、米、ダイコン等)
- 海産物の採取(ヒラメ、コンブ等)
- 海水、海底土の採取

分析・測定

施設やその周辺の放射線・放射能を常に分析しています

水や土、農畜海産物などの分析・測定を行います

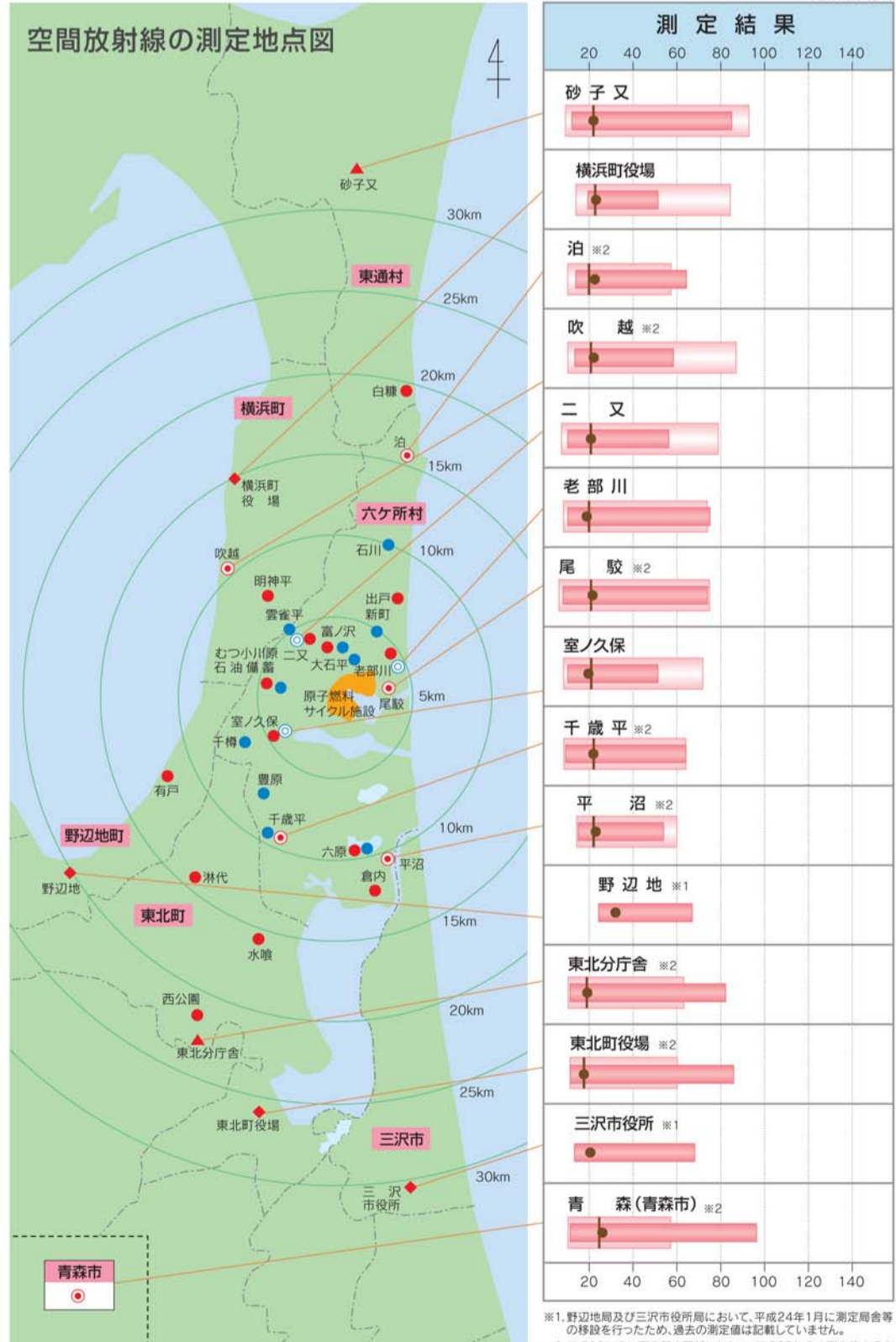
審議・評価、公表

審議・評価、公表の様子

青森県広報誌

当社広報誌

空間放射線のモニタリング結果



グラフの見方

[空間放射線量率]

平成24年度の平均値

平成24年度の測定値の範囲

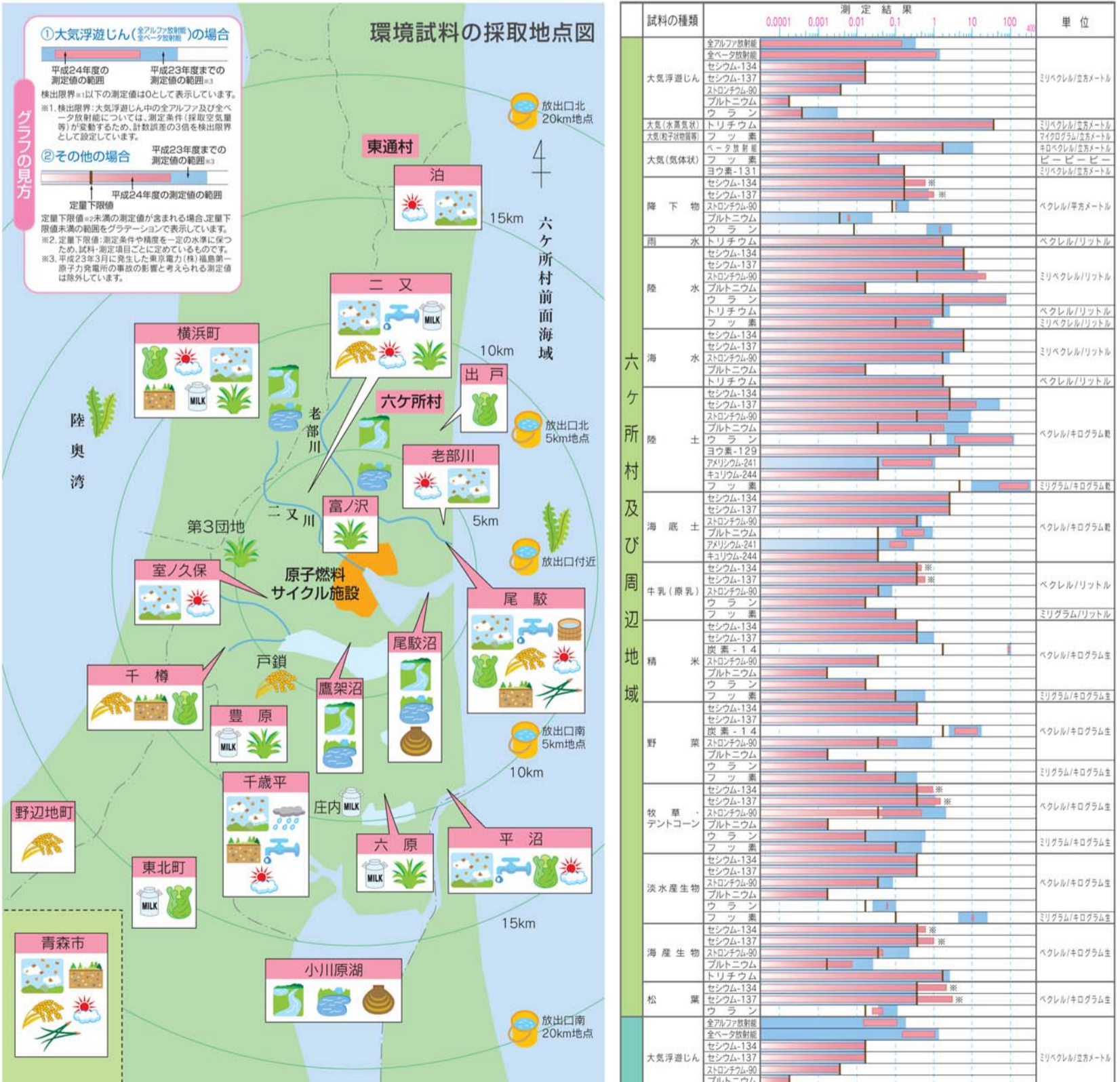
過去の平均値

過去の測定値の範囲

※過去の測定値:平成19~23年度の測定値

| 区分 | 県 | 事業者 |
|---------------------|---|-----|
| モニタリングステーション及び積算線量計 | ● | ○ |
| モニタリングポスト及び積算線量計 | ◆ | ◇ |
| モニタリングポスト | ▲ | ● |
| 積算線量計 | ● | ● |

環境試料中の放射能のモニタリング結果



| 試料の種類 | 採取時期 | 記号 | 試料の種類 | 採取時期 | 記号 | 試料の種類 | 採取時期 | 記号 |
|-------|-----------|----|------------|------|----|-------|-----------|----|
| 河川水 | 7.10 | ○ | 精米 | 収穫期 | ○ | 海水 | 4.7, 10.1 | ○ |
| 湖沼水 | 4.7, 10.1 | ○ | 稲 | 収穫期 | ○ | 海底土 | 10月 | ○ |
| 水産物 | 4.7, 10.1 | ○ | 畜産物 | 5.8月 | ○ | | | |
| 井戸水 | 4.7, 10.1 | ○ | アトニウム | 1回 | ○ | | | |
| 河床土 | 7.10 | ○ | 淡水産物(ワカサギ) | 1回 | ○ | | | |
| 湖底土 | 10月 | ○ | 松葉 | 4.10 | ○ | | | |
| 表土 | 7月 | ○ | | | | | | |
| 地下水 | 7月 | ○ | | | | | | |
| 牛(原乳) | 4.7, 10.1 | ○ | | | | | | |

※平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が考えられる。
 参考:「モニタリングつうしんあおり」No.89 平成24年度報